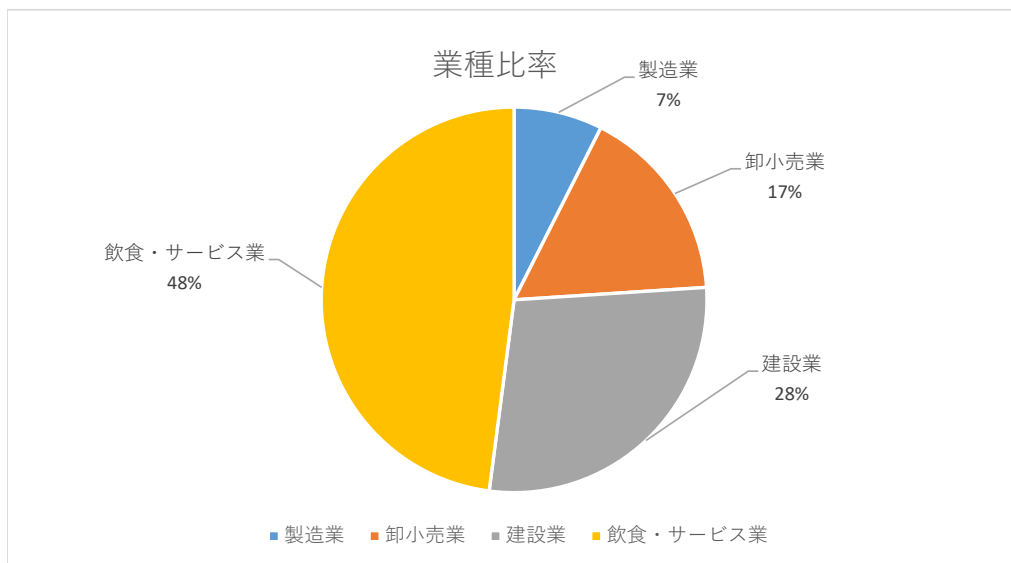


五日市商工会 令和4年度第3四半期景況調査 (2022年10月～12月)

1. 調査回答件数 121件

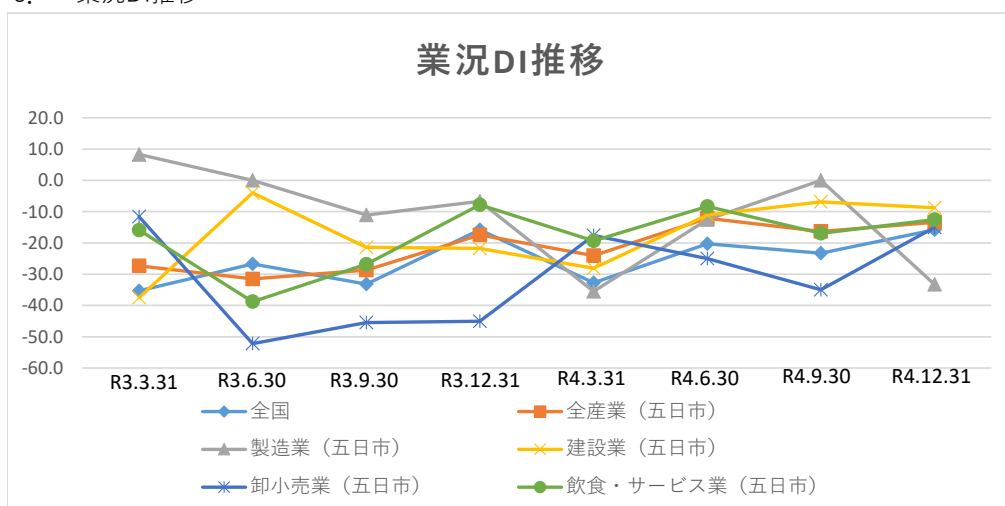


2. 業種別景況調査結果

	全国 (12月)		五日市商工会調査 10月～12月									
	全産業		全産業		製造業		卸小売業		建設業		飲食・サービス業	
	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	▲ 8.2	▲ 14.5	9.2	▲ 9.2	0.0	11.1	20.0	10.0	▲ 2.9	▲ 17.6	14.3	▲ 14.3
採算	▲ 19.5	▲ 28.5	▲ 9.2	▲ 22.7	▲ 33.3	▲ 22.2	5.0	▲ 10.0	▲ 17.6	▲ 35.3	▲ 5.4	▲ 19.6
仕入単価	▲ 57.3	▲ 66.9	▲ 68.9	▲ 61.3	▲ 88.9	▲ 77.8	▲ 95.0	▲ 85.0	▲ 67.6	▲ 67.6	▲ 57.1	▲ 46.4
雇用人員	17.7	20.9	14.3	21.0	0.0	11.1	20.0	25.0	23.5	29.4	8.9	16.1
業況	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 13.4	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 8.8	▲ 17.6	▲ 12.5	▲ 12.5

※全国数値は日本商工会議所LOBO調査から引用

3. 業況DI推移



4. 事業所からのコメント

	好転要因	悪化要因
製造業	・受注量が増加傾向	・仕入価格の高騰 ・材料費、動力費の高騰 ・人件費の高騰（雇用が困難）
建設業	・延期していた工事が動き始めた	・仕入価格の高騰 ・建築資材の高騰 ・人材不足に伴う受注機会の損失
卸小売業	・イベントや会合等の再開 ・コロナが沈静化し、人の流れが従来に戻りつつある	・仕入先の廃業等 ・電気料金等の高騰により収益圧迫 ・物価高による消費者の買い控え
飲食、その他のサービス	・外国人の入国緩和 ・団体客の予約件数が増加	・仕入価格、包装資材の高騰 ・経費(材料費、光熱費等)の高騰 ・人件費の高騰、人手不足

5. 設備投資

10月～12月実績		1月～3月見込み	
実施した	土地	0	0
	建物	2	2
	機械設備	5	4
	車両	4	4
	OA	5	5
	IT	1	4
	その他	0	0
実施していない		96	99

6. 当面の経営課題

一位	材料費や仕入れ価格が上昇	21.5%
二位	売上、需要が増えない	20.1%
三位	従業員や人材の確保が難しい	13.4%
四位	人件費が増加している	7.0%
五位	販売単価の低下、上昇難	5.7%

7. 総括

<ul style="list-style-type: none"> ・業種を問わず、仕入価格の高騰、電気料金等経費の高騰を景況感の悪化要因にあげる事業者が多い。 ・物価上昇や人手不足に対応するため賃上げを実施せざるを得ない経営実態がうかがえる。 ・経営上の課題については、前回調査同様「材料費や仕入れ価格が上昇」がトップ。「売上、需要が増えない」「従業員や人材の確保が難しい」が続く。 ・コロナ禍前の水準には至っていないが、業績が回復していると答える事業者もみられる。
